

6011-1476
平成30年8月27日

各関係機関長
各病害虫防除員 様

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成30年度病害虫発生予察特殊報第1号について

平成30年度病害虫発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

平成30年度病害虫発生予察特殊報第1号

- 1 病害虫名：1) ハンエンカタカイガラムシ属の一種 *Saissetia neglecta* De Lotto
2) ミカンコナカイガラムシ *Planococcus citri* (Risso)
3) ヒラタカタカイガラムシ属の一種 (ヒラタカタカイガラムシまたは *Coccus praetermissus*)
- 2 作物名：ライチ (ムクロジ科)
- 3 発生確認の経過
平成30年5月中旬、宮崎県内の施設ライチほ場において、葉、枝、果実に寄生するカイガラムシが認められ、門司植物防疫所へ同定依頼したところ、国内未発生1種、既知2種のカイガラムシが確認された。当該3種のカイガラムシのライチへの寄生は、国内初確認である。
- 4 形態及び生態の特徴
 - 1) ハンエンカタカイガラムシ属の一種 *Saissetia neglecta* De Lotto (写真1)
形態：雌成虫は体長1.5~4.5 mm、幅1.0~4.0 mm、茶色から濃い茶色。凸状で円形に近く、背面にH状の隆起線がある。
分布：北米から中南米および大洋州に分布。
寄主植物：ミカン科、ウルシ科など多食性である。
被害：枝を吸汁加害する。
 - 2) ミカンコナカイガラムシ *Planococcus citri* (Risso) (写真2)
形態：雌成虫は体長3.5 mm内外の黄褐色の楕円形で、体表は白色ロウ物質で覆われるが、厚みはなく、背部の正中線の地肌が縦筋となって見える。
分布：全世界に広く分布し、国内では小笠原、南西諸島、本土の温室にも一般的に分布。
寄主植物：ミカン科、トウダイクサ科など極めて多食性で、果樹類、花木、観葉植物、草花などに寄生する。
被害：葉、枝および果実を吸汁加害する。
 - 3) ヒラタカタカイガラムシ属の一種 (写真3)
形態：両種は形態的には、背面刺毛の形状以外に違いは無い。
[ヒラタカタカイガラムシ]
分布：全世界に広く分布し、本州、四国、九州、南西諸島。

寄主植物：ミカン科、ソテツ科、ラン科など極めて多食性で、果樹類、花木、観葉植物、草花などに寄生する。

被害：葉、枝および果実を吸汁加害する。

[*C. praetermissus*]

分布：東南アジア、大洋州等。

寄主植物・被害：ヒラタカタカイガラムシに準じる。

5 防除対策

- 1) 現在、登録農薬はないため早期発見に努め、寄生部位をブラシ等でこすり落とすなどの防除を行う。なお、こすり落とす際は、周囲に拡散しないようにする。
- 2) 剪定時には寄生部位を除去し、埋没等適切に処分する。
- 3) 苗を導入する場合は、寄生に十分注意する。



写真1 ハンエンカタカイガラムシ属の枝への寄生



写真2 ミカンコナカイガラムシ



写真3 ヒラタカタカイガラムシ属

《連絡先》

病害虫防除・肥料検査センター 松浦・寺本

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-7499

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

ホームページ : <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>